

2024年3月25日

一般社団法人 日本広告業協会

第53回懸賞論文 入賞・入選作品 決まる

一般社団法人 日本広告業協会（理事長 五十嵐博・電通グループ 取締役 代表執行役社長 グローバル CEO）主催による第53回「懸賞論文」は、2月29日、3月1日の本協会懸賞論文委員会の最終審査会にて入賞・入選者を選出し、第338回理事会において承認、決定した。

同賞は、当協会会員社における実務に根差した主張や提言を広告業界に反映させるという趣旨で1971年に第1回の募集が開始され、今年度で53回目を数える。

応募は、「論文」の部 課題「広告の新しい姿」に34編、「私の言いたいこと<一般部門><新人部門><プレゼンテーション部門>」の部に214編、計248編だった。テーマ性・独自性・具体性・表現力の4つの審査基準のもと、厳正なる審査の結果、「論文」から金賞1作品、銅賞2作品、「私の言いたいこと」から一般部門入選5作品、新人部門3作品が選出された。プレゼンテーション部門の入選は該当者なしとなった。また、最終審査会の審査をへて、別途28名をFinalistsとした。

金賞は、宮井弘之氏（博報堂）の作品『生活者は広告人となり、社会そのものがメディアとなる～シンギュラリティ時代に広告が欠かせない産業になるために～』が受賞した。

審査員からは、「私たちが常に対峙しているテーマに鮮やかに答えた作品」「この作品がさらなる『広告の新しい姿』を考える呼び水となるのは間違いないだろう」「社会彫刻家となる我々広告人がどのように活躍していくのか、今後を楽しみにさせてくれた」「過去の受賞作から得られる知見を再構築し『広告の新しい姿』を紡ぎ出す＝『新しい懸賞論文の姿』にも挑戦した意欲作」と高い評価を得た。

表彰は、5月31日に開催予定の2024年度定時総会後の記念式典にて行う。

また、同時にJAAAレポート臨時増刊号『第53回懸賞論文 入賞・入選作品集』を発行する。

第53回懸賞論文 入賞・入選者一覧

<「論文」 課題:広告の新しい姿>



金 賞

宮井 弘之

博報堂

ミライの事業室 Hakuholdo JV Studio 部長

『生活者は広告人となり、社会そのものがメディアとなる
～シンギュラリティ時代に広告が欠かせない産業になるために～』



銅 賞

小糸 和夫

電通

コーポレートオフィス ビジネス・コンサルタント

『会話をはじめた広告に期待される Club 市場の生成』



銅 賞

福永 琢磨

電通

BX クリエイティブ・センター

エクスペリエンス・デザイン部 ライター コピーライター

『熱が「直」に伝わる距離へ
～気持ちの力で時代を動かす、広告熱力学～』

<「私の言いたいこと」一般部門 > 第1テーマ 広告ビジネス



入 選

山本 健太

博報堂

生活者エクスペリエンスクリエイティブ局

事業構想クリエイティブ一部

イノベーションプラナー クリエイティブストラテジスト

『Open CX

～持続可能な社会と企業変革をリードする新たな体験 OS～』



入 選

吉永 諒子

朝日広告社

IMC プロデュース本部 プロデュース局

マーケティングプロデュース部 プランナー/コピーライター

『課題解決支援から、未来を描く支援へーコーチングの視点を
ヒントに、“自分の正解”と可能性を引き出す手伝いを』

<「私の言いたいこと」一般部門 > 第2テーマ 広告プランニング



入 選

大山 英輝

ADK マーケティング・ソリューションズ

第3 ビジネス・プロデュース本部

第3 ビジネス・プロデュース局 第3 グループ

シニア・ビジネスプロデューサー

『SNSと広告をつなぐカルチャーハンターとそのネットワーク』



入 選

中島 慶人

博報堂 DY メディアパートナーズ/博報堂

ミライの事業室 ビジネスデザインディレクター

『広告会社の活躍の幅を広げる、新たなコンテンツビジネスの可能性』



入 選

向井 俊介

日本経済広告社

CPD 局 2 部 1 ルーム プランナー

『生活者 2.0～社会課題解決は、みんなでやろう～』

<「私の言いたいこと」新人部門 >テーマ:自由



入 選

曾我 大晴

博報堂

第一ブランドトランスフォーメーションマーケティング局

プランニング四部 マーケティングプランナー

『プランナーとネガティブ・ケイパビリティ

～考える仕事に必要な「わからない」状態に耐える力～』



入 選

稲葉 巧

博報堂

αクリエイティブ局 永渕チーム PR プランナー

『広告活動は倫理とどう向き合うか～2つの広告態度から読み解く～』



入 選

大島 ももあ

読売広告社

ビジネスプロデュースユニット

関西支社

関西統合クリエイティブルーム

『私たちは今、bad girl たちになにを語りかけるべきか。』

以 上(敬称略・順不同・所属役職は受賞時)